

☆ 12月25日(土) ホテルニューオータニ (20:00開演)

## 2010 Christmas Dinner & Concert

# 高橋真梨子 with Henry Band クリスマスディナー&コンサート

例年は24日、クリスマスイブのディナーショーを楽しませて頂いたのだが、今回はレインボーさんのお誘いで25日。真梨子さんにとっても一年の締めとなるコンサートである。

カミさんは23、24の2日間いつも通り武道館へ。この日は私がニューオータニへ。冬休みに入っている孫には「26日に来てねえ」とあっさりした“バアバ”である。

電車に乗ると途中、富士山の絶景が楽しめる場所がある。我が家からも見る事が出来るのだがちょうど直線上に高い山が無く結構裾の方まで見えるのである。この日はお天気に恵まれ大きな赤い夕日が富士山の右肩に沈み行くのを眺めることが出来た。



ホテル・ニューオータニには何度か出掛けたが、じつは紀尾井町側から入ると知らずにこれまで随分と遠回りしていたのである。麴町駅を出て10分と掛からずに会場「鶴の間」に到着した。一番に出会った応援団のHさんと入口でウェルカム・ドリンクを頂いていると続々と皆さん到着である。

今回お誘い頂いたテーブルは「514」。去年のテーブル・ナンバーと照らして5列目の下手隅と思って出掛けたのだが結構中央寄りの場所で、ちょっとスタンディングしにくいかな…。と言うのは、よせばいいのに席に案内されるとき「昨日は立った方が制止されたそうですが」と聞いてしまった。「コンサート中は…」という返答で余計に立ちにくくなったのである。が、中には酔ったフリをして立ち続けたというツワモノも。

私と同席の方はいつもご一緒の応援団7名。見ればお隣のテーブルも強力な4名様で、お見掛けした方々だけでも18名が揃った。

今宵も赤ワインを頂いたのだが、ディナーは間違いなく年々貧弱になっている。いわゆる「前菜」にツリーを模った「野菜のムース」と「コンソメ・スープ」で次にメインの「ローストビーフ」が出ればデザートのアイスクリュームである。どれも大変美味しく頂きコンソメ・スープはお代わりしてしまったのだが、とにかく少食の私でも物足りないと言うのが正直な感想で、終演後は男性4名で赤坂見附に出て居酒屋で「やきとり」を頬張ったのである。

コンサートは定刻の20時にスタートし、アンコールを含め17曲を聴かせて頂けた。まずは恒例のアンサンブルであるが、治郎さんが抜けたヘンリーさん、小松崎さん、万照さんの3名である。今回はこれまでの「あ〜なんだっけ」という曲ではなく、聞いたことはあるが多分タイトルは知らない…そんな曲であった。人づてに入手した情報は♪愛の挨拶 エドワード・エルガーの作曲である。

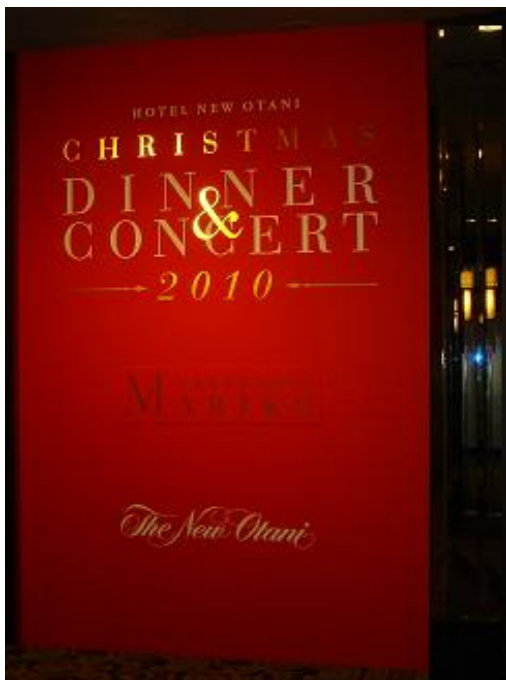


真梨子さんはグレーのロングドレスではあるがクリスタル(に見えたが)を全体に散りばめてキラキラと輝く衣裳で登場。私の大好きな♪OLD TIME JAZZ からスタートである。ニューオータニのクリスマス・ディナーショーのラインアップを挙げ「私を選んでくれてありがとう」と。

「No Reason 2」からの4曲を含め、いかにもディナーショーらしく「売れた」曲が中心となっている。そしていよいよ終盤の♪グランパである。「立たないだろうな」との思いは裏切られ、逆に「なに座ってるの!」という目線に誘われ、そうなればトコトン大いに楽しんでしまおう。ツアー中と同様に踊って楽しんでしまった。

今回で13年連続のディナーショー参加となったが、如何にも危うい記録である。辛うじてどなたかに誘って貰っている…。そんなギリギリの線で楽しませて頂いているのである。来年はどうか？よろしければお誘いください。

2010年も皆さんと一緒にさせていただき真梨子さんの追っかけを楽しめたこと、心より感謝します。



#### 【曲目】

1. 愛の挨拶(アンサンブル)
  2. OLD TIME JAZZ
  3. 桃色吐息
  4. 時間よ止まれ
  5. 空に星があるように
  6. ジョニーへの伝言
  7. 五番街のマリーへ
  8. 遥かな人へ
  9. この世の果てまで～イマジン～この世の果てまで
  10. ブルー・シャドウ
  11. 真っ白いシャツ
  12. ごめんね…
  13. for you …
  14. 人間の証明のテーマ
  15. グランパ
  16. フレンズ
- ENCORE
17. はがゆい唇